

令和6年度（2024年度）

一般選抜学生募集要項

【前期日程】

出願期間 令和6年(2024年)1月22日(月)～2月2日(金)
試験日 令和6年(2024年)2月25日(日)教育学部・経済学部・理工学部・
福祉健康科学部
令和6年(2024年)2月25日(日)・26日(月)医学部
合格者発表 令和6年(2024年)3月8日(金)

【後期日程】

出願期間 令和6年(2024年)1月22日(月)～2月2日(金)
試験日 令和6年(2024年)3月12日(火)教育学部・経済学部・医学部・
理工学部・福祉健康科学部
合格者発表 令和6年(2024年)3月21日(木)

【インターネットを利用した出願です】

経済学部の改組について

●総合経済学科 1 学科 6 コースへの改編

設置の理念：新しい時代を見据えた「学び」の進化

国連SDGs (Sustainable Development Goals) は、2030年をゴールにした「サステナビリティ」(持続可能性) 社会をめざしています。一方で、この社会・企業・地域の持続的発展をめざす取組は2030年以降も続きます。

大分大学経済学部では、SDGsに対応しつつ、その先にある社会的課題にも対応できる力を育てるため、「サステナビリティ」を軸とし、地域・社会・生活の質を向上させる教育体制へシフトさせていきます。そのために、これまでの4学科体制から、経済・経営・地域研究の分野を融合した「総合経済学科」1学科とし、サステナビリティに対応する多彩な6コースを新たに設けます。

コースでは、社会の実態(リアル)を知り、課題探究型授業で自らの将来をデザインし、見つけた課題を専門的な知見を使って分析し、「学び」を集大成させていきます。こうした分野融合による多彩なコースを通じ、複雑・多様な社会課題に果敢に挑戦できる資質・能力を育てていきます。



養成する人材像：総合的な基礎力を備え、社会の中核を支える人材

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材の養成をめざしています。

教育の特徴：自分の可能性を高める「学び」のしくみ

1学科6コース制の特徴は、早期からの、国内外での体験や、現実の資料分析を通じて、地域社会、国際レベルの現実の課題を理解するとともに、これによって、大学4年間での専門分野の学修を深めるための起点、体系的学修へのモチベーションづくりとすることにあります。

同時に、各コース各学年の中核となるセミナー形式の授業では、経済学・経営学を中心に法学・社会学等社会科学諸分野の専門教員複数の指導の下で学修を進めます。各コースにおける、こうした多様な専門分野からの視角と、分野を横断した学修を可能にするのが、総合経済学科という1学科の体制です。

各コースの特色：経済社会のサステナビリティに対応する多彩な6コース

・経済分析・政策コース

サステナビリティの観点から市場経済のしくみを検討し、政府、企業等で適切なデータ、根拠に基づき政策形成・評価ができる力を養います。

Keyword：EBPM、政策評価、経済学的思考

・ IBP (International Business Perspectives) コース

英語などの外国語運用能力だけでなく、国籍・文化の多様性を理解し、協調してグローバルに行動する力を養います。留学する際には、給付型の奨学金で支援します。

Keyword : 異文化理解、国際交流、グローバル人材

・ 会計コース

企業の財務的数値と非財務的数値（ESG関連指標）を活用し、企業内部・外部の利害関係者（ステークホルダー）の視点から、会計的に思考する力を養います。

Keyword : 簿記、会計、ファイナンス、経営分析

・ 社会イノベーションコース

現代社会に存在するさまざまな社会課題や地域課題を発見し、それらに対して主に経営学の観点からのアプローチで新たな価値の創造（イノベーション）につながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養います。

Keyword : イノベーション、経営学、課題発見、課題探究、フィールドワーク

・ 生活・仕事創造コース

人口減少社会の課題を経済学・経営学・社会学・法律学・社会福祉学の学際的な視点で考え、人や地域をつなぐ力と、豊かな生活と仕事を自ら創り出す力を養います。

Keyword : 子ども食堂、被災地との交流、食と農、協働、多様な働き方、8050問題

・ 地域経営・法コース

地域が抱える諸課題の解決に必要な地域経営（地域づくり）に関する知識・分析力と、地域の多様な利害を調整する法的思考力を養います。

Keyword : 地方創生、まちづくり、リーガルマインド、マイノリティ、地域分析

理工学部理工学科DX人材育成基盤プログラムの設置について

本学は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募した「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援）」に申請し選定されました。本事業は、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、国が基金を創設し、機動的かつ継続的に大学への支援を行うものです。

本事業に選定されたことにより、本学では、高度情報専門人材（DX人材）の育成のため、理工学部及び大学院工学研究科（修士課程）に「DX人材育成プログラム」を新設します。理工学部では令和6年度から学生（入学定員40名）を受け入れ^註、大学院では令和7年度に工学研究科を理工学研究科に改組し、受入を開始する計画を進めています（文部科学省と協議中のため、今後計画の内容が変更となる場合もあります）。本学は、本事業により、成長分野をけん引するDX人材を育成しつつ、今後も教育・研究内容等の充実・強化を図り、地域社会における地（知）の拠点としての役割を果たしてまいります。

注）「DX人材育成基盤プログラム」は、「DX人材育成プログラム」の学部段階のプログラムです。

令和5年度（2023年度）		令和6年度（2024年度）	
学部	学科・プログラム（入学定員）	学部	学科・プログラム（入学定員）
理工学部	理工学科（355人） ・数理科学プログラム ・知能情報システムプログラム ・物理学連携プログラム ・電気エネルギー・電子工学プログラム ・機械工学プログラム ・知能機械システムプログラム ・生命・物質化学プログラム ・地域環境科学プログラム ・建築学プログラム	理工学部	理工学科（395人） ・数理科学プログラム ・知能情報システムプログラム ・物理学連携プログラム ・電気エネルギー・電子工学プログラム ・機械工学プログラム ・知能機械システムプログラム ・生命・物質化学プログラム ・地域環境科学プログラム ・建築学プログラム ・ DX人材育成基盤プログラム

「DX人材育成プログラム」の概要

VUCA※時代の社会を維持・発展させるためのDX人材の養成

「DX人材育成プログラム」において、デジタル社会におけるリーダーとして、潜在的課題の発見・解決、非常事態におけるデジタルインフラの速やかな回復・復興、さらには新しい付加価値の創造を主導できるDX人材を養成します。

※VUCA：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとり、目まぐるしく変転する予測困難な状況を意味する。

安定的な情報専門人材確保のための「生涯教育ループ」の確立

高校生や社会人のニーズと既存スキルに応じたビュッフェ型マイクロクレデンシャル（短時間で特定の領域を学び、その学修歴を証明する仕組み）を設定・提供します。さらに、小中高生向けにSTEAM教育科目を提案・実践することにより、地域内におけるDX人材確保の裾野を広げます。

イノベーションcommons（共創拠点）コアの整備

情報技術のプロフェッショナル養成のため、実践的な演習科目を随時実施可能なデジタルワークスペースを整備します。

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）の評価について

本学における一般選抜では、学力の3要素（①知識・技能の確実な習得 ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）のうち、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）を、下表の試験科目等により評価します。

学部名	前期日程	後期日程
教育学部	グループディスカッション	グループディスカッション
経済学部	特色加点	小論文
医学部	面接	面接
理工学部	特色加点	面接
福祉健康科学部	面接	面接

※「特色加点」は志願者の申請を原則とし、申請がなければ大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点のみで合否判定を行います。

目 次

ページ

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	2
1. 募集人員	25
2. 出願資格	27
3. 志願学部・学科等	27
4. 出願期間及び出願手続	29
5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）	32
6. 個人情報の取扱い	32
7. 入学資格審査	32
8. 障がいのある者等の事前相談	33
9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について	33
10. 令和6年度（2024年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	34
◎大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項	45
11. 個別学力検査の日程及び試験時間	59
12. 受験に際しての注意事項	61
13. 試験場	61
14. 不正行為の取扱い	64
15. 合格者発表	64
16. 入学手続	65
17. 追加合格	65
18. 欠員補充第2次募集	66
19. 情報提供	66
20. 一般選抜個人成績の開示	66
21. 入試過去問題の使用	68
22. その他	68
23. 受験の際の宿泊	68
24. 大分大学学生寮のご案内（予告）	69
25. 令和5年度（2023年度）入学者選抜試験実施状況	70
26. 令和5年度（2023年度）入学者出身高校所在地別状況	71
27. 令和5年度（2023年度）一般選抜合格者の成績	72
令和7年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）	73

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 （出願登録期間の9：00～20：00）	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 （平日の9：00～17：00） E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-BridgeSystem」(JBS)の操作方法 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、および隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では教科の試験とグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科〈音楽、美術、保健体育、技術、家庭〉の試験を課しています。大学入学共通テストは3～4教科4～5科目とし、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科の試験	○	○			
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	個人面接 グループディスカッション (調査書) (志望理由書) (推薦書)		○	○	○	○	
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	教科の試験	○	○		○		
	個人面接 (調査書) (自己推薦書) (活動報告書)		○	○	○	○	

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、修得しておくべき科目は国語総合の他、国語表現、現代文、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があつてを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的現象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

- 数 学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。
- 理 科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。
- 外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

1. 本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。
2. こうした人たちが、高度化・複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえでも求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。
3. この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

1. 経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人
2. 自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人
3. 現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人
4. 責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人
5. 知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）
- ・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う6次産業、NPO・NGOなどを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

- ・ 公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生
- ・ 公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP (International Business Perspectives) コース】

- ・ 国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生
- ・ 地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

- ・ 企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生
- ・ 簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

- ・ 身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生
- ・ そうした課題に対して、多様な形での関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

- ・ 持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生
- ・ そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

- ・ 地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・ 一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・ 一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・ 学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

・ 総合型選抜

【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提

出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

・帰国生徒選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・社会人選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・第3年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科の試験	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○		○		
	面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
	推薦書	○		○	○	○	
総合型選抜	小論文	○	○		○		
	面接	◎	○	◎	○	◎	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
調査書		○		○	○		

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

大分大学医学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

医、看護及び先進的医療に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学、看護学及び医療科学の知識並びに技術と技能、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、医療従事者等、更には医学、看護学研究者、大学・企業研究者等を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

<医学科>

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

<看護学科>

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

<先進医療科学科>

領域・業種の垣根を超えた情報交換と交流の橋渡しができる能力を有し、大学・企業研究者、医療従事者、起業家、医療事業経営マネジメントを行える人材となり、進化した医工連携、深化した医学生命科学連携の将来の担い手として活躍できる人材を養成します。

求める学生像

<医学科>

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人
(一般選抜地元出身者枠、総合型選抜地域枠)
- 5 大分県の地域医療に貢献したいという強い意志と、地域医療に対する適応力を持っている人

<看護学科>

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

<先進医療科学科>

- 1 医療に携わる様々な領域で研究者、科学者、起業家などとして地域社会の発展と人類の健康・福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 好奇心旺盛で、様々な分野に興味があり、多様性のある活動ができる人

- 3 他者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 4 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、自らたゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる自主性、持続力と忍耐力を持っている人
- 5 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を持っている人

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般選抜と総合型選抜を、看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を、先進医療科学科では一般選抜を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に第2年次編入学試験を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした第3年次編入学試験を実施しています。

各選抜試験で重視する観点<医学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像				
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する	大分県の地域医療に貢献する強い意志と地域医療への適応力を有する
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(筆記)	○	○						
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地元出身者枠)
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地域枠)
	個別学力検査(グループディスカッション)		○	○				○	○ (地域枠)

各選抜試験で重視する観点<看護学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像				
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている	社会性を有する	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		個別学力検査(小論文)	○	○					
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○

学校推薦型選抜	個別学力検査 (小論文)	○	○					
	個別学力検査 (個人面接)		○	○	○	○	○	○
	個別学力検査 (グループディスカッション)		○	○			○	○

各選抜試験で重視する観点<先進医療科学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	地域発展・人類福祉への貢献の意思を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(筆記)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(小論文)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○

・一般選抜

《医学科前期日程》

一般選抜では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストは5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

《看護学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度を評価するため、大学入学共通テストについては5教科6科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、小論文と面接を、後期日程では面接を課します。小論文では、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。その際、高等学校等の調査書及び志願調書を参考資料とします。

《先進医療科学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストについては5教科7科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、「数学」、「理科」（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択）、「英語」により、医学・医療を学ぶための基礎学力に加え、自然科学や多様な情報に対する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。後期日程では、「小論文」により、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価すると

もに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

・ 総合型選抜

＜医学科＞

総合型選抜は、自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜します。一般選抜と同じく大学入学共通テストは、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・ 学校推薦型選抜

＜看護学科＞

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、調査書、推薦書及び自己推薦書を参考資料とします。

・ 社会人選抜

＜看護学科＞

社会人選抜では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・ 第2年次編入学試験

＜医学科＞

第2年次編入学試験では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れたグループディスカッションを行います。

・ 第3年次編入学試験

＜看護学科＞

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に修得することが必要です。

・一般選抜、学校推薦型選抜

<医学科前期日程>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で。

<看護学科前期日程・後期日程・学校推薦型選抜>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で。

<先進医療科学科前期日程・後期日程>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で。

・総合型選抜

<医学科>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数 学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理 科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

保 健 体 育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献

したいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、個別学力検査（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問

を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学試験

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分		学力の3要素			求める資質・能力					
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	数学・理科の基礎学力	知的好奇心・志望分野の課題への興味・関心・ねばり強さ	自立的に考え、かつ他者と協同し、積極的に取り組む姿勢	リーダーシップと行動する意志		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（数・理）	○	◎		◎				
		特色加点			☆		☆	☆	☆	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（面接（口頭試問を含む））	○	◎	○	○	◎	○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	女子枠 一般推薦	基礎能力試験	◎	○		○				
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎		
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
学校推薦型選抜Ⅱ	女子枠 一般推薦	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		小論文	○	◎			○			
		面接	○	◎	○		◎	○	○	
		調査書	○				○	○	○	
総合型選抜入試		面接（筆記試験・小論文・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		自己推薦書		○			○			
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○	
		調査書	○				○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	私費外国人留学生	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	第3年次編入学試験		面接（筆記試験・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
			提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

- ・ 大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- ・ 福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
- ・ 様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
- ・ 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
〈理学療法コース〉
- ・ リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人
〈社会福祉実践コース〉
- ・ 福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人
〈心理学コース〉
- ・ 心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多元的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

- ・ 一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課します。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

- ・ 学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多元的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケーション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

- ・ 総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストによってコースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目		学力の3要素			本学部が求める力		
		知識技能	思考力判断力表現力	主体性協働力	地域や現代社会への関心	意欲積極性	コミュニケーション力・リーダーシップ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
		小論文	○	◎	○	◎	○
		面接		○	◎	○	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
		小論文	○	◎	○	◎	○
		面接		○	◎	○	◎
学校推薦型選抜	小論文	○	◎	○	◎	○	
	面接		○	◎	○	◎	◎
総合型選抜	大学入学共通テスト	◎	○				
	小論文	○	◎	○	◎	○	
	個別面接		○	◎	○	◎	◎
	グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。個別学力検査及び学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、修得しておくべき科目は国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的現象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。

なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理科：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。

なお、修得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

1. 募集人員

学部	課程・学科・コース ・プログラム		入学 定員	募 集 人 員						
				一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜		
				前期日程	後期日程	学校推薦型 選抜Ⅰ	学校推薦型 選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜 Ⅱ	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等中等 教育コース	140	72	23	—	35	—	10	
		特別支援 教育コース	10	3	2	—	5	—	—	
	計		150	75	25	0	40	0	10	
経済学部	総合経済学科		270	120	65	普通推薦 45 商業推薦 10	—	英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 10	—	
	計		270	120	65	55	0	30	0	
医学部	医学科		100	一般枠 55 地元出身者枠 10	—	—	—	—	一般枠 22 地域枠 13	
	看護学科		60	35	10	15	—	—	—	
	先進医療 科学科	生命健康科学 コース	20	15	5	—	—	—	—	
		臨床医工学 コース	15	11	4	—	—	—	—	
	計		195	126	19	15	0	0	35	
理工学部	理工学科	数理科学プログラム	395	267	56 【注5】	—	—	—	—	
		知能情報システム プログラム				一般推薦 5 女子枠 2 サイエンス推薦 2	9	—	5	—
		DX人材育成基盤 プログラム				—	—	—	—	—
		物理学連携プログラム				—	—	—	—	—
		電気エネルギー・ 電子工学プログラム				一般推薦 9 女子枠 2	11	—	2	—
		機械工学プログラム				一般推薦 8 女子枠 2	10	—	5	—
		知能機械システム プログラム				一般推薦 4 女子枠 1 サイエンス推薦 1	6	—	1	—
		生命・物質化学プログラム				一般推薦 7 女子枠 4 サイエンス推薦 1	12	—	—	—
		地域環境科学プログラム				—	—	—	2	—
		建築学プログラム				—	一般推薦 3 女子枠 2	5	4	—
計		395	267	56	一般推薦 33 女子枠 11 サイエンス推薦 4	48	一般推薦 3 女子枠 2	5	19	0
福祉健康科学部	福祉健康 科学科	理学療法 コース	30	22	3	—	—	—	—	5
		社会福祉実践 コース	35	23	4	普通推薦 7 福祉推薦 1	8	—	—	—
		心理学コース	35	27	—	—	—	—	—	8
	計		100	72	7	8	0	0	0	13
合 計			1110	660	172	171		107		

【注1】「学校推薦型選抜Ⅰ」及び「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、「学校推薦型選抜Ⅱ」及び「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表します。

【注2】各学部の学校推薦型選抜、総合型選抜の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜で補充することがあります。

【注3】経済学部一般選抜後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（若干名）を含みません。そのため、これらの入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者を決めることがあります。

医学部看護学科一般選抜後期日程の募集人員には社会人選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、この入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者数を決めることがあります。

理工学部一般選抜前期日程と後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、前期日程、後期日程の合格者数を決めることがあります。

【注4】医学部医学科一般選抜前期日程において、一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員に満たない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合は合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

【注5】数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程のプログラム仮配属はありません。

【理工学部について】

一般選抜について

理工学部理工学科一般選抜（前期日程）では、出願時に全10プログラム（数理科学、知能情報システム、D X人材育成基盤、物理学連携、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、地域環境科学、建築学）から、第1志望から順に最大第10志望まで選んで出願することができます。また、理工学部理工学科一般選抜（後期日程）では、出願時に7プログラム（知能情報システム、D X人材育成基盤、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、建築学）から、第1志望から順に最大第7志望まで選んで出願することができます。ただし、後述する理科の科目選択によるプログラム制限がある場合はこの限りではありません。合否判定は、受験者を成績順に並べ、上位より志望プログラムに仮配属を行います。募集の目安は下記のとおりです。なお、合否判定及びプログラム仮配属についての詳細は51～56ページを参照してください。

プログラム群	プログラム	募集の目安	
		前期日程	後期日程
数学、情報システム	数理科学プログラム	13	
	知能情報システムプログラム	37	9
	D X人材育成基盤プログラム	30	10
物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	
	電気エネルギー・電子工学プログラム	43	9
機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
	知能機械システムプログラム	16	5
化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	35	5
環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	
	建築学プログラム	28	8
合計		267	56

※数理科学プログラム、物理学連携プログラム及び地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。

プログラム配属及び入学後の教育方法について

一般選抜による合格者は入学時に合格したプログラムに仮配属されます。

1年次には専門性の近いプログラム群に所属し、分野的に共通の基盤となる基礎的な学問体系にかかる理解を深めます。2年次以降に各プログラムへ本配属となり、専門性を高めていきます。基本的には仮配属プログラムと同じプログラムに本配属されますが、分野を変更したい学生に向けて全プログラムを対象とした転プログラムが可能です。また、2年次で転プログラムしておらず、転プログラム後も4年での修了が見込める場合に限り、学部の定める基準を満たしていれば、3年進級時の転プログラムも可能です。

転プログラムは、学部の定める成績基準を満たすとともに、転入プログラムの受入上限（おおむね募集の目安の110%程度）を超えない範囲で認められます。

※転プログラム希望者が受入上限数を超えた場合には、学部の定める方法で審査を行い判定します。

2. 出願資格

- 1 令和6年度「大学入学共通テスト」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。
 - (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年（2024年）3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年（2024年）3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年（2024年）3月31日までにこれに該当する見込みの者
なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（32ページの「7. 入学資格審査」を参照）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

- 2 医学部医学科地元出身者枠の志願者は、上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。
 - (1) 大分県内の小学校、中学校又は高等学校を卒業し、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者（令和6年（2024年）3月に大分県内の高等学校卒業見込みの者を含む。）
 - (2) 卒業後、初期研修2年間を含む3年間を大分大学医学部附属病院あるいは大分大学が指定する医療機関等で臨床研修に従事することを確約できる者

※地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第2志望を選択します。

3. 志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般選抜（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

(1) 教育学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

(2) 医学部

志願できる学科・コースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです（ただし、医学科では後期日程は実施しません）。

(3) 理工学部

- (ア) 志願できるプログラムは、前期日程で第10志望まで、後期日程で第7志望までです。
また、全ての志望順位の記入は必須ではありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。
- (イ) 前期日程において、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場合は、個別学力検査の「物理」を選択していることが必要です。個別学力検査の

「物理」を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。

(ウ) 前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストの「物理」を選択していることが必要です。大学入学共通テストの「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。

(4) 福祉健康科学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

4. 出願期間及び出願手続

一般選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願です。

出願に当たっては、下記（1）～（4）の全ての手続が必要です。いずれか1つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間：**令和6年（2024年）1月22日（月）～2月2日（金）（消印有効）**

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは1月15日（月）から可能です（下記（1）～（4））。

※前期、後期とも出願する場合は、前期、後期それぞれで対応が必要となります。

（1）インターネット出願システムにアクセス・入力・登録（一時保存可）

下記のURLからインターネット出願システムにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）なお、このURLは本学ホームページからもリンクしています。

インターネット出願システム <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、**一時保存する** ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。

スマートフォンを利用するなど印刷できない場合は、画面上で十分確認してください。

※入学検定料の入金前であれば、登録内容の削除が可能です。

（2）入学検定料17,000円の支払い（別途払込手数料900円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続完了後は、登録内容の変更はできません。

（3）証明写真データのアップロード及び登録

（4）「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに出願書類送付

入学検定料の支払い及び証明写真データの登録完了後に印刷が可能となりますので、インターネット出願システムから**A4サイズの普通紙にカラー印刷（医学科、先進医療科学科は両面）**し、「宛名ラベル」を市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、「**速達書留**」で郵送してください。

【注】出願書類提出期間後の消印が押されている出願書類は受理しませんので、ご注意ください。

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の9：00～20：00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日の9：00～17：00) E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-BridgeSystem」(JBS)の操作方法 等

出願に必要な書類等

(1) 出願書類等 (出願期間に間に合うよう準備をしてください。)

書類等名	内容等	該当者
インターネット登録・印刷 システムより	出願確認票 (提出用) ・ 共通テスト成績請求票	<p>インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続き」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.1 出願確認票 (提出用)」をA4サイズの普通紙にカラー印刷 (医学科、先進医療科学科は両面) し、令和6共通テスト成績請求票 (前期出願者は国公立前期日程用、後期出願者は国公立後期日程用) を貼付して提出してください。</p>
	(証明写真データの登録)	
	宛名ラベル	
志願者が各自で準備するもの	調査書	<p>全員 (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)</p>
	(1) 高等学校等を卒業した者及び令和6年(2024年)3月卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身高等学校長等が令和5年(2023年)4月以降に作成し厳封したもの。 ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、高等学校長等が作成した、①「調査書が発行できない旨の理由書」、②「卒業証明書」、③「成績証明書 (又は単位修得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。なお、③「成績証明書 (又は単位修得証明書)」が得られない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書 (又は単位修得証明書)」が発行できない旨の理由書を③の代わりに提出してください。	
	(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、 合格成績証明書 をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。	
	(3) 高等専門学校第3学年修了 (見込みを含む。以下同じ。) 者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。	
	(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した (見込みを含む。以下同じ。) 者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格 (フランス共和国) 取得者、GCE-Aレベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。	
	(5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は、当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。 ※改姓等により、現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。	
小学校、中学校又は高等学校の卒業証明書	<p>出身学校長が証明したものを提出してください。なお、小学校、中学校及び高等学校の複数が大分県内の場合は、いずれか1つの卒業証明書を提出してください (高等学校卒業見込みの者は、卒業見込み証明書でも可)。 ※「卒業証書の写し」は不可。必ず「卒業証明書」を提出してください。 ※改姓等により、現在の氏名と卒業証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。</p>	医学部医学科 地元出身者枠のみ
志願調査書	医学部看護学科 (前期日程・後期日程) を志願する者は、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、 志願者本人が自筆 で記入してください。	医学部看護学科のみ
第1段階選抜合否通知用返信用封筒	市販の封筒 (長形3号) に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 344円分の切手を貼って ください。	<p>医学部医学科・看護学科・先進医療科学科 福祉健康科学部理学療法コース 社会福祉実践コース 心理学コース (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)</p>

<p>入学検定料 (17,000円)</p>	<p>インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払いください。 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。 (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合 (返還額：17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合 (返還額：17,000円) (ウ) 出願受付後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合 (返還額：13,000円) (エ) 医学部又は福祉健康科学部の第1段階選抜で不合格となった場合 (返還額：13,000円) ※ (ア)、(イ)に該当する場合は、32ページ「(4) 入学検定料の返還請求」を参照してください。 ※ (ウ)又は(エ)に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p> <p>災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課 (TEL：097-554-7471) へ連絡してください。(33ページ参照)</p>	<p>全 員 (前期、後期とも出願する場合は前期、後期それぞれに入学検定料が必要です。)</p>
<p>専用サイト (JBS) より登録</p>	<p>インターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」(電子申請システム)にアクセスし、所定の項目を入力するとともに、その根拠となる資料等がある場合は登録してください。 【申請期間：令和6年(2024年)1月15日(月)～2月2日(金)】</p> <p>※特色加点の詳細は、経済学部前期日程47～49ページ、理工学部前期日程52～53ページを参照してください。 ※「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。 ※出願書類を大学へ送付後も上記期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなりますので注意してください。</p> <p>登録内容について、当該サイトより印刷したものを控えとして保管しておいてください(提出の必要はありません)。 ※印刷は登録画面にある「印刷する」からブラウザの印刷機能を利用してください。</p> <p>インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点の対象になりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」に登録も行ってください。</p>	<p>経済学部前期日程及び理工学部前期日程の申請者のみ</p>

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学 (※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。) の総合型選抜及び学校推薦型選抜合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても本学の合格者とはなりません。
※公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照
- (イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。
- (ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (エ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (オ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (カ) 出願に当たっては、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目 (35～44ページ参照) を受験しているか、必ず志願者本人が確認してください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学個別学力検査を受験することができません。
- (キ) 出願確認票に「令和6共通テスト成績請求票 (国公立前期日程用又は国公立後期日程用)」を貼付していない場合は、出願を受理できません (「令和6共通テスト成績請求票

(国公立前期日程用又は国公立後期日程用)」を紛失した場合は、大学入学共通テスト受験案内を参照の上、早急に、独立行政法人大学入試センターに再発行申請を行ってください。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL:097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが出願しなかった場合、入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後直ちに、次の①～⑦を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、封筒(表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしたもの。)に入れ、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・入学検定料返還請求願に記載する事項

①前期日程か後期日程か、②学部名、③整理番号、④氏名(フリガナ)、

⑤郵便番号及び住所、⑥連絡先電話番号、⑦返還請求理由

・請求期限:令和6年(2024年)2月22日(木)

・請求先:〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL:097-554-7471

※入学検定料の返還は、3月以降になります。

5. 受験票(受験番号確定メールの送信・受験票の印刷)

受験番号確定メールは**2月13日(火)**に送信します(**医学部及び福祉健康科学部を除く**)。

メール受信後、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から受験票を各自で**A4サイズ普通紙にカラー印刷**して**試験当日持参**してください。

また、**試験当日は大学入学共通テスト受験票も持参**してください。

※メール送信日から3日経過しても受験番号確定メールが届かない場合は、速やかに学生支援部入試課に連絡してください。

なお、第1段階選抜を行う可能性がある**医学部は49ページ**、**福祉健康科学部は58ページ**に記載の【第1段階選抜について】を確認してください。

6. 個人情報の取扱い

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

7. 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申出を行い、関係書類を令和5年(2023年)12月22日(金)(ただし、大学入学共通テストを受験後、本学に志願変更した場合は令和6年(2024年)1月17日(水))までに提出してください。

＜参考＞学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 (TEL: 097-554-7471)

8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

- (1) 申出期限：令和6年（2024年）1月4日（木）17：00までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。申出期限経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。
- (2) 申出方法：本学ホームページより「令和6年度（2024年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

※大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は、その写しを添付してください。

- (3) 申 込 先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471

9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

災害に関する特別措置（入学検定料免除等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>）でお知らせします。

10. 令和6年度（2024年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点 教科・科目名の表記方法について

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目名は、次のように略しています。

- ・ 国語→国
『国語』→「国」

- ・ 地理歴史→地歴
「世界史A」→「世A」、「世界史B」→「世B」、「日本史A」→「日A」、
「日本史B」→「日B」、「地理A」→「地理A」、「地理B」→「地理B」
※「同一名称のA・B出題科目」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」を指します。

- ・ 公民→公民
「現代社会」→「現社」、「倫理」→「倫」、「政治・経済」→「政経」、
『倫理、政治・経済』→「倫・政経」
※「同一名称を含む出題科目」とは、「倫理」と『倫理、政治・経済』、「政治・経済」と『倫理、政治・経済』を指します。

- ・ 数学→数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」、
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」、
『簿記・会計』→「簿」、「情報関係基礎」→「情報」

- ・ 理科→理
「物理基礎」→「物基」、「化学基礎」→「化基」、「生物基礎」→「生基」、
「地学基礎」→「地基」、「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」、
「地学」→「地学」
※「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。
※「基礎を付さない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
※「同一名称を含む出題科目」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、
「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」を指します。

- ・ 外国語→外
『英語』→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、
『韓国語』→「韓」

(注) 『 』で記載しているものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

(2) 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記(1)によるほか次のように略しています。

- ・ 「国語総合」→「国総」
- ・ 「数学A」→「数A」、「数学B」→「数B」、「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」
- ・ 「コミュニケーション英語Ⅰ」→「コ英Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」→「コ英Ⅱ」、
「コミュニケーション英語Ⅲ」→「コ英Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」→「英表Ⅰ」、
「英語表現Ⅱ」→「英表Ⅱ」

◎45～58 ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度(2023年度) 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								特色 加点	その他の 入試方法等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文			面接	配点 合計								
経済学部 〔3.4〕 270人 前期 120 後期 65 推薦 55 総合 30	前期 2月25日	国	国	数外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※3 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通 テスト	100	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200				800										
		地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から2 ※1				[200]※3	<200>※3	200	[200]						<400>※3	100			200					
		公民	現社、倫、政経、倫・政経 } の2																		[400]※3 <200>	100	<400>※3	1000	
		数	数Ⅰ・数A と 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																						①又は②
		理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } の2																						
	外	英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	その他	小論文	大学入学共通 テスト	100	100×2	100		100				500											
	後期 3月12日	国				国	[4教科5科目又は5教科5科目]	大学入学共通 テスト	100	100×2	100		100				500								
	地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から2 ※1				100			200	100	100	200	200	700											
	公民	現社、倫、政経、倫・政経 } の2																							
	数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 ※2																							
外	英、独、仏、中、韓から1 〔4教科5科目又は5教科5科目〕																								

- ※1 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※2 「数学」の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
- ※3 個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

◎45～58 ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度(2023年度) 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								その他の 入試方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接		配点 合計	
医学部 [5.4] 100人 前期 65 (一般枠 55) (地元出身者枠 10) 195人 後期 19 推薦 15 総合 35 (一般枠 22) (地域枠 13)	前期 2月25日 と26日	国	国	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から2 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接(個人面接) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 ※数Bは「数列、ベクトル」	約3倍	大学入学共通 テスト	100	50	50×2	50×2	100			450	総合型選抜 追加合格 第2次募集	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1				個別学力検査			100	100×2	100		150	550		
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2				計	100	50	200	300	200		150	1000		
		理	物、化、生から2														
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]														
	看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	前期 2月25日 と26日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	100	50	50×2	100	100			450	学校推薦型選抜 社会人 追加合格 第2次募集
			地歴 公民	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 ※2				個別学力検査					100	100	200		
			数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2				計	100	50	100	100	100	100	100	650	
		後期 3月12日	その他	面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	100	50	50×2	100	100				450		
			理	物、化、生から1 ※3		個別学力検査						100	100				
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目]	計	100	50	100	100	100	100	100	100	550			
	生命健康 科学コース 20人 前期 15 後期 5 臨床医工 学コース 15人 前期 11 後期 4 先進医療 科学科	前期 2月25日 と26日	国	国	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接(個人面接) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 ※数Bは「数列、ベクトル」	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	100×2	200			900	追加合格 第2次募集
地歴 公民			世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 ※2	個別学力検査						100	100	100		100	400		
数			数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2	計				200	100	300	300	300		100	1300		
後期 3月12日		その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	100×2	200				900			
		理	物、化、生から2		個別学力検査						150	150	300				
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]		計	200	100	200	200	200	150	150	1200				

- ※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
- ※2 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
- ※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎45～58 ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度(2023年度) 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								特色加点	その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接			配点 合計		
理工学部 [3.4] 395人 前期 267 後期 56 推薦 53 総合 19 理工学科	前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 ※1 } から1(ただし、第一志望 とする場合は物理必須) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150	75	50×2	50×2	200				625	400	1025	20	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																
		理	物と 化、生から1 } の2																
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																
	後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125	75	150×2	100×2	200				900	200	200	1100	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																
		理	物と 化、生から1 } の2																
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																
前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150	75	50×2	50×2	200				625	400	1025	20		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125	75	150×2	100×2	200				900	200	200	1100		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150	75	50×2	50×2	200				625	400	1025	20		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125	75	150×2	100×2	200				900	200	200	1100		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150	75	50×2	50×2	200				625	400	1025	20		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125	75	150×2	100×2	200				900	200	200	1100		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
前期 2月25日	国	国	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150	75	50×2	50×2	200				625	400	1025	20		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	
後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125	75	150×2	100×2	200				900	200	200	1100		
	地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1 ※1																	
	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2																	
	理	物 化 } から2 生																	
	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]																	

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎45～58 ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度(2023年度) 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接		配点 合計		
福祉健康 科学部 [3.4] 100人 前期 72 後期 7 推薦 8 総合 13	理学療法 コース 30人 前期 22 後期 3 総合 5	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	③50×2+100 ④100×2	200			900	総合型選抜 追加合格 第2次募集	
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B				から1 ※4	個別学力検査					300	100	400		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経					計	200	100	200	200	200	300	100		1300
		後期 3月12日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	③50×2+100 ④100×2	200				900
			理	③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※5 ④物、化、生、地学から2	③又は④				個別学力検査					100	300	400		
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目]					計	200	100	200	200	200	100	300		1300
	福祉健康 科学部 35人 前期 23 後期 4 推薦 8	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200			900	学校推薦型選抜 追加合格 第2次募集	
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B				から2 ※2	個別学力検査					300	100	400		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経					計	200	200	200	100	200	300	100		1300
		後期 3月12日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200				900
			理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1	①又は②				個別学力検査					100	300	400		
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]					計	200	200	200	100	200	100	300		1300
心理学 コース 35人 前期 27 総合 8	前期 2月25日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(グループディスカッション)※6	約3倍	大学入学共通 テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	総合型選抜 追加合格 第2次募集	
		地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B	から1又は2				※1	個別学力検査					100	300	400		
		公民	現社、倫、政経、倫・政経	※2					計	200	200 100	200	100 200	200	100	300		1300
	理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2																
	後期 3月12日	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]															

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④
- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
- ※4 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
- ※5 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。
- ※6 受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

◎大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項

全学部共通事項

【大学入学共通テストについて】

(1) 「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。

「英語」は、リーディング100点、リスニング100点、合計200点の配点となっていますが、学部ごとに下記のように200点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

・教育学部、経済学部、福祉健康科学部

リーディング160点、リスニング40点 合計200点

・医学部、理工学部

リーディング100点、リスニング100点 合計200点

(2) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(3) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。なお、本学では令和6年度（2024年度）の入学試験において、令和5年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

【個別学力検査について】

個別学力検査で必要な試験科目等を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【追加合格、欠員補充第2次募集について】

後期日程入学手続締切期日までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第2次募集を行うこともあります。

【その他】

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査及び出身高等学校長等が作成した調査書等に基づいて総合判定します。

教育学部

【大学入学共通テストについて】

・ 35、36ページの大学入学共通テストの () で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経 } ※2 ①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④ ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div> ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div> (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div>

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 国語、数学、外国語から試験開始後に1教科を選択して受験してください。
- (2) グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。
- (3) 調査書はグループディスカッションの参考にします。

後期日程

- (1) 小論文はコースごとに学校教育に関わる出題を行い、文章の理解力、論理的思考力、表現力、並びに教育に対する関心などを評価します。
- (2) グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

(3) 調査書はグループディスカッションの参考にします。

【同点者について】

・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

経済学部

【大学入学共通テストについて】

・37、38ページの大学入学共通テストの()で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ①又は②	前期日程の理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点のものを合否判定に使用
		(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、 第1解答科目 第2解答科目 第1解答科目の得点を合否判定に使用

【個別学力検査について】

前期日程

(1) 個別学力検査等の配点等の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

(2) 合否判定について

前期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績に特色加点を加えた合計点により合否判定を行います。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点(以下、「当初配点」という。)とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみ(特色加点は0点)で合否判定を行います。

(3) 特色加点について

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に提出してください。

上記の活動の具体例としては、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動となります。

根拠となる資料等の具体例としては、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や、活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。

これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、本学部がアドミッション・ポリシーに

定める「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる取組のタイトル

高等学校入学以降、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、興味と関心をもつことのできた活動、取組はなんですか。その取組のタイトルを記入してください。

[2] 特色加点の対象となる取組の内容

特色加点の対象となる取組について400字以内で具体的に記入してください。

例えば、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動について述べてください。

[3] 上記 [2] に関する根拠資料や参考資料等

根拠となる資料等として、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等がある場合は登録してください。

なお、登録は下記の種類のファイルとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

対象とするファイルの拡張子：png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv（ファイル登録は1つまで、ファイルサイズの上限は10MB）

[4] アドミッション・ポリシーや入学後の学びとの関連性

大学の入学後、上記 [2] の経験をどのように活かしますか、また活かそうと考えていますか。本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえつつ、200字程度で述べてください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】※実際の入力画面とは異なることがあります。

登録・編集

大分大学
一般選抜前期日程_経済学部 (プレビュー) [23sw998tu6]
一般選抜前期日程_経済学部 (申請1)

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともに提出してください。

タイトル

活動内容タイトル

高等学校入学以降、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、興味と関心をもつことのできた活動、取り組みはなんですか。その取り組みの名称を記入してください。

特色加点の対象となる取り組みの内容

特色加点の対象となる取り組みについて400字以内で具体的に記入してください。
例えば、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動について述べてください。

※下記イメージ画像の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。



後期日程

- ・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入学共通テストを補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力 (あるいは大意把握力) (b) 論理的思考力 (c) 表現力

これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

医学部

【第1段階選抜について】

- ・医学科、看護学科及び先進医療科学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- ・医学科は一般枠と地元出身者枠を合わせて募集人員の約3倍まで、看護学科は募集人員の約3倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約3倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

後期日程

- ・看護学科は募集人員の約10倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約10倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜については、令和6年（2024年）2月13日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。なお、合格者には併せて面接の集合時刻を案内します。

試験当日は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から**受験票**を各自でA4サイズ普通紙に**カラー印刷**し、**大学入学共通テスト受験票と併せて持参してください。**

※受験番号確定メールは送信しません。

※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和6年（2024年）2月13日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。

- (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
- (4) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (5) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。
- (6) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (7) 先進医療科学科において、理科の科目は、試験開始後に1科目を選択してください。
- (8) 先進医療科学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (9) 先進医療科学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
- (10) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

後期日程

- (1) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (2) 先進医療科学科の小論文は、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価します。
- (3) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

【同点者について】

同点者がいる場合は、次のとおりの取扱いとします。

前期日程

- ・医学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aも同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。
- ・看護学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。

後期日程

- ・看護学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。

【一般枠と地元出身者枠の選抜方法について】

- (1) 地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第2志望を選択します。
- (2) 一般枠と地元出身者枠それぞれの募集人員を満たすまで、専願者と併願者（第1志望）を総合得点の高い順から志望する枠の合格者とします。
- (3) 一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員を満たしていない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合には合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

理工学部

【大学入学共通テストについて】

前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストで「物理」を選択していることが必要です。「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。また、これらのプログラムを配属対象から外した結果、どのプログラムの配属上限数内にも収まらない場合は、不合格と判定されます。

※物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストにおいて「物理」・「化学」若しくは「物理」・「生物」の組み合わせで科目選択をしなければなりません。

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (2) 物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場合は、個別学力検査の『物理』を選択していることが必要です。
 - ・個別学力検査の『物理』を選択していない志願者は、数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムから必ず第1志望を選んでください。『物理』指定のプログラム（物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム）を第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の『物理』指定なしのプログラム（数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム）のうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。この場合、当初の志望プログラム順位は第2志望以降に順次繰り下げられます。なお、個別学力検査の『物理』を選択していない志願者が『物理』指定なしのプログラムを1つも志望していない場合は、合否判定は行われません。

※個別学力検査の『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第2志望以下とする場合は、個別学力検査の『物理』は選択しなくても志望可能ですが、入学後、これらのプログラムに配属された場合は高校レベルの物理分野の基礎能力が必要となりますので、考慮して志望プログラム順位を決めてください。

※具体的な例を55、56ページ「※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

(3) 特色加点について

大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、Webを通じて出願時に申請してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、プレゼンテーションファイルや論文等の学習成果物、活動に関わる広報・新聞等の印刷物やホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学者選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を発揮する意志」について総合的に評価します。

(4) 特色加点申請書の登録要領

特色加点申請書はインターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」から入力してください。

（注）インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点対象にはなりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」の登録も行ってください。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる活動や学びの取組のタイトル

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取組の名称を記入してください。

申請できる活動や学びの取組は1件です。既卒者は高等学校卒業後の取組も申請できます。

[2] 特色加点の対象となる活動や学びの取組の概要

申請する活動や学びの取組の概要と取り組んだ経緯、取組に対する申請者の思いや工夫や苦労した点などについて、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

[3] 上記 [2] に関する根拠資料や参考資料等

申請する活動や学びの取組の根拠となる資料がある場合は登録してください。添付できるファイルは3つ（1ファイルあたりのサイズの上限は10MB）までで、ファイルの種類（利用可能な拡張子）は以下のとおりとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv、html

〔4〕活動や学びの取組を通して身についたことと入学後の学びとの関連性

①志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などを記述してください。

②申請した活動や学びを通じて身についたことや成長した点、及びそれらの経験を大学入学後の学習や活動にどのように活かしたいかについて、①で記述した内容と本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、400字以内で具体的に記入してください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】※実際の入力画面とは異なることがあります。

登録・編集

大分大学
一般選抜前期日程_理工学部_創生工学科 福祉メカトロニクスコース (プレビュー) (88suvcvsvw)
一般選抜前期日程_理工学部_創生工学科 (申請1)

大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、根拠となる資料等とともにWebを通して出願時に提出してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、賞状、新聞記事等が考えられます。

タイトル

活動内容タイトル

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取り組みの名称を記入してください。申請できる活動や学びの取り組みは1件です。既卒者は高等学校卒業後の取り組みも申請できます。

特色加点の対象となる活動や学びの取り組みの概要

申請する活動や学びの取り組みの概要について、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

提出

※下記イメージ画面の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。

活動や学びの取り組みを通して身についたことと入学後の学びとの関連性

提出

申請項目一覧へ戻る

提出する

後期日程

面接に先立って、志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などに関する「志望理由書」への記入を求めます。面接は個人面接又は集団面接で行い、提出書類と志望理由書を参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見るとともに積極性、自己表現

力を評価します。また、理工学部で必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。また、集団面接ではグループディスカッションは行いません。

【合否判定について】

各プログラムの募集の目安は以下のとおりとし、プログラム配属上限数は募集の目安を元に決定されます。

各プログラムの募集の目安

学科	プログラム群	プログラム	募集の目安		
			一般選抜		
			前期日程	後期日程	
理工学科	数学、情報システム	数理科学プログラム	13		
		知能情報システムプログラム	37	9	
		D X人材育成基盤プログラム	30	10	
	物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10		
		電気エネルギー・電子工学プログラム	43	9	
	機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10	
		知能機械システムプログラム	16	5	
	化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	35	5	
	環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13		
		建築学プログラム	28	8	
	合計			267	56

前期日程

前期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で実施します。

- (1) 「1次選考」では、大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点を合計した成績上位者において、合格基準を上回った受験者を「1次選考適格者」とします。
- (2) 「1次選考適格者」について、大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点に特色加点を合計した成績順を「特色加点付加順位」とします。
- (3) 「2次選考」では、「特色加点付加順位」の順に並べて、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。
- (4) (3) の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第10志望まで全て埋める必要はありませんが、「2次選考」において記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

※具体的な例を55、56ページ「※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

後期日程

後期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査（面接）の成績により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で行います。

- (1) 大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点を合計した成績順に並べ、上位から受験

者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。

(2) (1) の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第7志望まで全て埋める必要はありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

【同点者について】

前期日程・後期日程

同点者がいる場合は、大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aも同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。

※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例

説明に当たっては、便宜的に次の表の「略称」を用います。

緑色のプログラムは、第1志望とする場合に個別学力検査「理科」の科目指定がないものを表します。

オレンジ色のプログラムは、第1志望とする場合に個別学力検査「理科」の科目指定がある（『物理』を選択する必要がある）ものを表します。

プログラム名	略称
数理科学プログラム	数理科学
知能情報システムプログラム	知能情報
DX人材育成基盤プログラム	DX基盤
物理学連携プログラム	物理連携
電気エネルギー・電子工学プログラム	電気電子
機械工学プログラム	機械工学
知能機械システムプログラム	知能機械
生命・物質化学プログラム	物質化学
地域環境科学プログラム	地域環境
建築学プログラム	建築学

ケース1：個別学力検査で『物理』を選択し、第1志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ第1志望が募集の日安に達していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	・・・

↓志望順位の入れ替えなし。「電気エネルギー・電子工学プログラム」に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	・・・

ケース2：個別学力検査で『物理』を選択せず、第1志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第1志望が募集の目安に達していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望
受験者B	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学

↓第5志望が第1志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第1志望に繰り上がった「知能情報システムプログラム」に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望
受験者B	化学	知能情報	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	物質化学

ケース3：個別学力検査で『物理』を選択せず、第1志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第1志望が募集の目安に達した場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望
受験者C	化学	電気電子	機械工学	物理連携	数理科学	DX基盤	地域環境

↓第5志望が第1志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第2志望以降の募集の目安に達していない最上位「電気エネルギー・電子工学プログラム」（電気エネルギー・電子工学プログラムが募集の目安に達していない場合）に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望
受験者C	化学	数理科学	電気電子	機械工学	物理連携	DX基盤	地域環境

ケース4：個別学力検査で『物理』を選択せず、第1志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、第2志望以降に個別学力検査の理科の科目指定がないプログラムを選択していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望
受験者D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	建築学	-

↓第1志望に入れ替えることが可能なプログラムがないため、全て不合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望
受験者D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	建築学	-

福祉健康科学部

【大学入学共通テストについて】

・43、44ページの大学入学共通テストの（ ）で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ①又は②	理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点のものを合否判定に使用 (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、 第1解答科目 第2解答科目 } 第1解答科目の得点を合否判定に使用
地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経 ※2 ①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2 } ※1 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④ ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、 理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点の2つ = 合否判定に使用する得点 ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } 高得点のもの = 合否判定に使用する得点 (b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点 } 高得点のもの = 合否判定に使用する得点 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点

【第1段階選抜について】

各コースにおいて、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- ・各コースの募集人員の約3倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

後期日程

- ・各コースの募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。
- ※第1段階選抜については、令和6年（2024年）2月13日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。**試験当日**は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から**受験票**を各自でA4サイズ普通紙に**カラー印刷**し、**大学入学共通テスト受験票と併せて持参してください。**
- ※受験番号確定メールは送信しません。
- ※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和6年（2024年）2月13日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【個別学力検査について】

前期日程・後期日程

- ・個別学力検査では、小論文及び面接※を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。なお、面接の得点が、面接の配点の20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- ※面接は、理学療法コース及び社会福祉実践コースでは「個人面接」、心理学コースでは「グループディスカッション」を行います。なお、心理学コースでは、受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

【同点者について】

- ・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

11. 個別学力検査の日程及び試験時間

【前期日程】

- ・教科等欄の△は選択を示します。
- ・筆記試験、面接及びグループディスカッションの入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該試験終了まで退室できません。
- ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、次のとおりです。
筆記試験…試験開始後20分
面接及びグループディスカッション…試験開始時刻
- ・面接及びグループディスカッションの終了時刻は、最終面接者（グループ）の終了予定時刻であり、変更することがあります。
各面接終了者（グループ）から帰ることができます。

試験日		2月25日（日）			2月26日（月）
学部	課程・学科・コース等	教科等	試験時間	備考 (教科・科目の選択方法等)	教科等、集合時刻等
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース 特別支援教育コース	△国語 △数学 △英語	13：10～14：30	国語、数学、英語から1教科を試験開始後に選択	
		グループディスカッション	15：00～18：00		
経済学部	総合経済学科	△数学 △英語	13：10～14：30	数学、英語から1教科を出願時に選択	
医学部	医学科	理科	9：00～11：00	理科は物理、化学、生物から2科目を試験開始後に選択	面接 午前の部 8：30集合(予定) 午後の部 12：45集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。 集合時刻については、別途お知らせします。
		数学	12：20～13：40		
		英語	14：30～15：50		
	看護学科	小論文	9：30～11：30		面接 午前の部 9：00集合(予定) 午後の部 13：25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。 集合時刻については、別途お知らせします。
	先進医療科学科	理科	9：30～11：00	理科は物理、化学、生物から1科目を試験開始後に選択	面接 午前の部 9：00集合(予定) 午後の部 13：25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。 集合時刻については、別途お知らせします。
		数学	12：20～13：40		
英語		14：30～15：50			
理工学部	理工学科 全プログラム	理科	9：30～11：00	理科は物理、化学、生物から1科目を出願時に選択	
		数学	12：20～14：00		

福祉健康科学部	福祉健康科学部	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文	10:00~11:30	
			面接	12:30~18:00	
	心理学コース	小論文	10:00~11:00		
		面接	12:30~18:00		

【後期日程】

- ・筆記試験、面接及びグループディスカッションの入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該試験終了まで退室できません。
- ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、次のとおりです。
筆記試験…試験開始後20分
面接及びグループディスカッション…試験開始時刻
- ・面接及びグループディスカッションの終了時刻は、最終面接者（グループ）の終了予定時刻であり、変更することがあります。
各面接終了者（グループ）から帰ることができます。

試験日		3月12日（火）			
学部	課程・学科・コース等		教科等	試験時間	集合時刻等
教育学部	学校教育 教員養成課程	初等中等教育コース 特別支援教育コース	小論文	9:30~10:30	・9:00までに集合し、入室着席（試験室は当日掲示）してください。
			グループディスカッション	11:00~17:00	
経済学部	総合経済学科		小論文	10:00~11:40	・9:30までに入室着席（試験室は当日掲示）を完了してください。
医学部	看護学科		面接	午前の部 9:00~12:30 午後の部 13:30~16:00	午前の部 8:30集合(予定) 午後の部 13:00集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
	先進医療科学科		小論文	9:30~11:00	・9:00までに集合し、入室着席（試験室は当日掲示）してください。
		面接	12:30~17:00		
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命・物質化学プログラム 建築学プログラム	面接	10:00~16:00	・9:30までに集合（試験室は当日掲示）してください。 ・試験時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、試験場に昼食を持参してください。
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文 面接	10:00~11:00 12:30~18:00	・9:30までに入室着席（試験室は当日掲示）を完了してください。

12. 受験に際しての注意事項

- (1) 入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 筆記試験中は、本学受験票及び**大学入学共通テスト受験票**を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、計時機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの。）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。
 なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 出願時に届け出た教科・科目以外のものを受験した場合、当該教科・科目の成績は無効となります。
- (5) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (6) 試験当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (7) 携帯電話等の電子機器類（以下、携帯電話等という。）の使用について
 - ・試験室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
 - ・試験時間中は、時計代わりに携帯電話等の計時機能を使用することはできません（机の上に置くこともできません）。
 - ・試験室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
 - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種にかかわらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身に付けずに、かばん等にしまってください。
 - ・アラームの解除方法が分からない人や電源の切り方が分からない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

13. 試験場

学部名	試験場	所在地
教育学部 経済学部 理工学部 福祉健康科学部	大分大学 ^{だんの はる} 旦野原キャンパス	大分市 ^{おおあざだんの はる} 大学旦野原700番地
医学部	大分大学 ^{はさま} 挾間キャンパス	由布市 ^{ゆふし はさま まちい だいが おか} 挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

- (1) 試験場の下見は、前期日程は2月22日（木）の14：00～16：00、後期日程は3月11日（月）14：00～16：00の間に行ってください。ただし、建物内に入ることはできません。
- (2) 各学部試験場及び試験室は掲示板で確認してください。
- (3) 試験当日、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。
 なお、旦野原キャンパスには自動車での入構はできますが、駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関等を利用してください。また、挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。
- (4) 挾間キャンパスでは、試験時間中に医学部附属病院高度救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があり、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、あらかじめご了承ください。

だんのはる
旦野原キャンパス

(教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部：大分市大字旦野原700番地)

<JR利用>

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約15分）、徒歩約10分

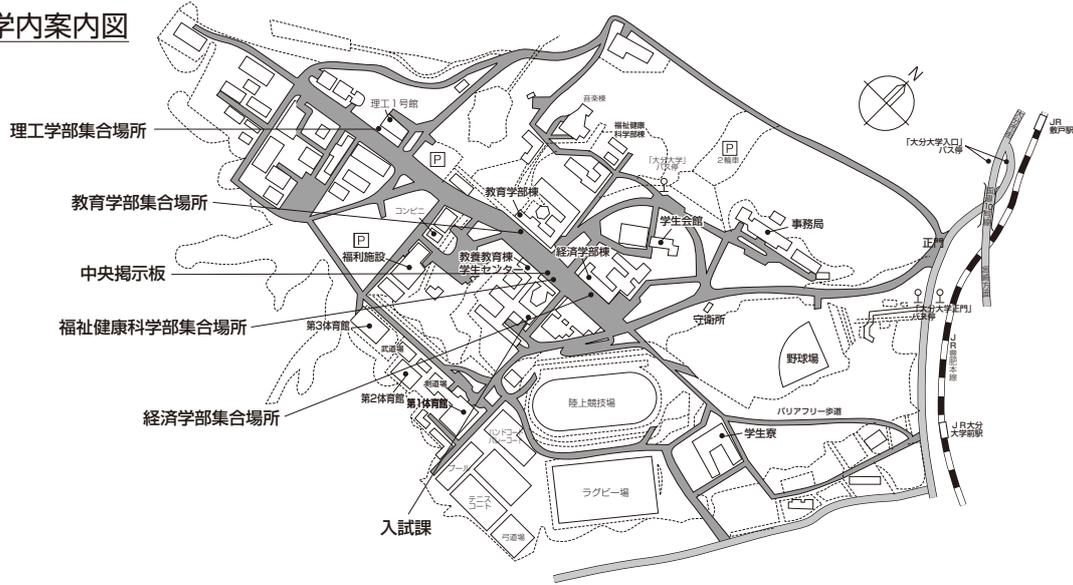
<バス利用>

大分バス[中央通り①]のりば(トキハデパート前)又はJR大分駅府内中央口(北口)[大分駅前3番又は4番のりば]から

- 「大南団地(高江ニュータウン)」行きを利用(約40分)、「大分大学」又は「大分大学正門」下車
- 「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用(約40分)、「大分大学入口」下車、徒歩約10分

(詳細は時刻表で確認してください。)

学内案内図



はさま
挾間キャンパス

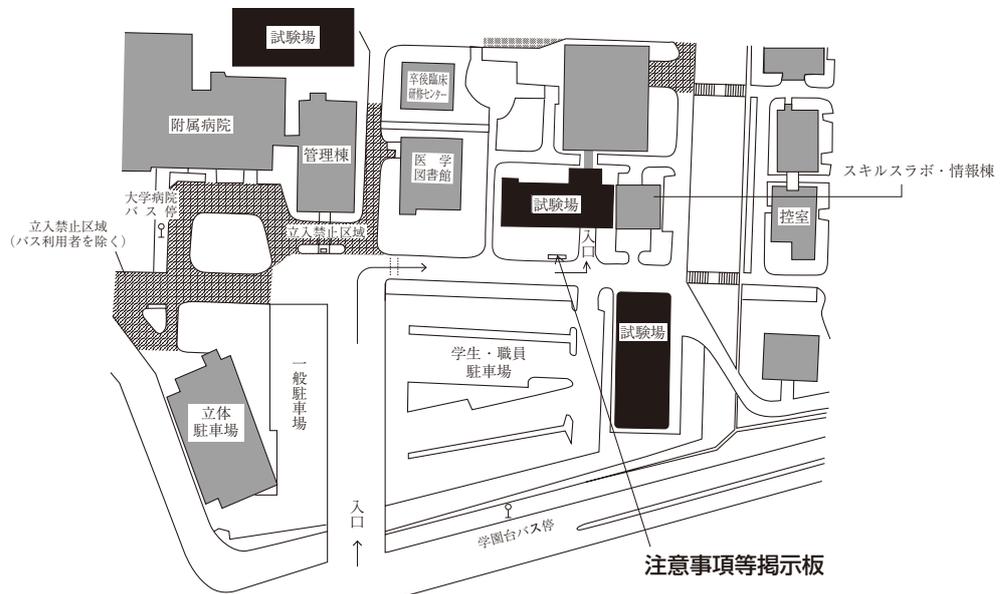
(医学部：由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

<バス利用>

大分バス [中央通り②]のりば(トキハデパート前)又はJR大分駅府内中央口(北口)[大分駅前5番のりば]から

- 「大学病院」行き又は「大学病院」経路を利用(約40分)、「大学病院」下車

(詳細は時刻表で確認してください。)



14. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験科目等の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察への被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (ア) ①インターネット出願登録の際に故意に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人以外の写真を貼ること。
 - ②解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること（本人以外の名前・受験番号を記入するなど）。
 - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です）。
 - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
 - (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

15. 合格者発表

合格者発表日時	前期日程	令和6年（2024年）3月8日（金）10：00
	後期日程	令和6年（2024年）3月21日（木）10：00

合格者は、上記の日時に本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）の「入試最新情報」に受験番号を掲載します。

また、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

16. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

なお、入学手続には**大学入学共通テスト受験票**が必要ですので、受験後も保管しておいてください。

(1) 入学手続期間

期間	前期日程	令和6年(2024年)3月11日(月)～15日(金)17:00まで(必着)
	後期日程	令和6年(2024年)3月22日(金)～27日(水)17:00まで(必着)

※入学手続は**郵送のみ**とします。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることがあります。その場合は事前に、学生支援部入試課(TEL:097-554-7471)に連絡してください。

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません。)の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください。また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります(最大6か月)。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除となります。また、本学独自の授業料奨学融資制度があります。詳細については学生・留学生支援課奨学支援係(TEL:097-554-7386)までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません。)の予約候補者又は入学料の徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに入学手続期間に合格通知とともに送られてくる書類の指示に従って、必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

(3) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

17. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

追加合格の有無については、令和6年(2024年)3月28日(木)9:00頃に本学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)へ掲載します。電話等による照会には一切応じません。

追加合格候補者には、3月28日(木)9:00以降3月31日(日)までの間に、出願時に登録された連絡先へ候補者の上位から順に電話で直接連絡し、本人確認を行った上で入学の意思確認を行います。その際、確実に連絡がとれるように措置を講じておいてください。

なお、候補者が電話に出ず連絡がつかない場合や、候補者以外の方しか電話に出ない場合は時間を空けて再度電話しますが、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に候補者本人に連絡がつかない場合は候補者から除外し、次位の候補者へ連絡を行います。

また、候補者本人に連絡がついた場合でも、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に入学の意思が確認できない場合は、入学の意思がないものとして取り扱いますので、仮に候補者となった場合に入学を希望するか否かについて、あらかじめ決めておいてください。

追加合格による欠員補充の作業が終了した場合は、その旨を本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) へ掲載します。

連絡期間	令和6年(2024年)3月28日(木)～令和6年(2024年)3月31日(日)
------	---

18. 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、入学手続完了者がなお各学部の入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

この場合、詳細については本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) にて公表します。

19. 情報提供

(1) 本学ホームページへの掲載について

下記の期間、本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) に掲載します。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	令和6年(2024年)1月22日(月)17:00～3月7日(木)
合格者受験番号 (前期日程)	令和6年(2024年)3月8日(金)10:00～3月11日(月)
合格者受験番号 (後期日程)	令和6年(2024年)3月21日(木)10:00～3月22日(金)
追加合格実施状況	令和6年(2024年)3月28日(木)9:00頃～3月31日(日)

(2) 本学の情報は本学ホームページで見ることができます。

20. 一般選抜個人成績の開示

本学では、一般選抜個人成績については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

(1) 開示請求者

本学が実施した令和6年度(2024年度)一般選抜を受験した者

(2) 開示請求の方法

インターネット出願システム上で、出願登録時に「入試成績の開示請求」の欄を「請求する」と選択してください。

※一般選抜個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

(3) 開示請求期間

令和6年(2024年)1月15日(月)～2月2日(金)17:00まで

(4) 開示内容

開示内容は、次のとおりとします。ただし、「最高点・最低点及び平均点」については、合格者が10名以内の場合は不開示とします。

(ア) 本学入学試験成績

【教育学部、経済学部後期日程】

合格者・不合格者(共通)：総得点(受験した科目等ごとの内訳を含む。)、合格者(追加合格者を除く。)の最高点・最低点及び平均点。

【経済学部前期日程】

合格者・不合格者（共通）：特色加点を含めた総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【医学部医学科】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。
合格者：合格した募集区分（一般枠又は地元出身者枠）における合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。
不合格者：第1志望の募集区分（一般枠又は地元出身者枠）における合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【医学部看護学科】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【医学部先進医療科学科】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【理工学部前期日程】

合格者・不合格者（共通）：特色加点を含めた総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。
合格者：合格したプログラムにおける特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点並びに合格者順位。
不合格者：第1志望のプログラムにおける特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【理工学部後期日程】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。
合格者：合格したプログラムにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。
不合格者：第1志望のプログラムにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【福祉健康科学部】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

(イ) 大学入学共通テスト成績

本学受験に必要な科目についてのみ合否判定に使用した点数を開示します。

(5) 開示期間

令和6年（2024年）6月3日（月）～6月28日（金）

(6) 開示の方法

一般選抜個人成績開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、一般選抜個人成績を確認できます。詳細は令和6

年5月中旬ごろに本学ホームページに掲載します。

(7) 手数料

1 選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

(8) その他の注意事項

(ア) 開示請求期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。

(イ) 郵送、電話、メール及び本学入試課窓口での開示請求は受け付けません。

(ウ) 既納の手数料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ・ 入学検定料と手数料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合
- ・ 入学検定料と手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求した場合

21. 入試過去問題の使用

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、「数学」及び「小論文」は参加しません。

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者にわかる形で使用過去問題を公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

22. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課 (TEL: 097-554-7471) です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

23. 受験の際の宿泊

宿泊については大分大学生生活協同組合でも案内しています。希望する者は下記URL (大分大学生生活協同組合ホームページ) を確認してください。

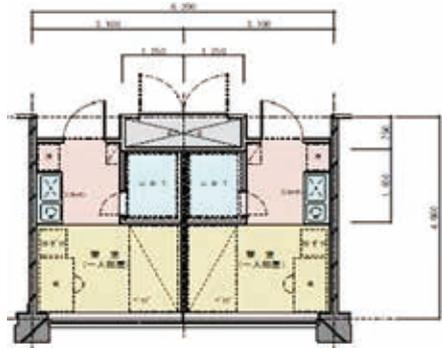
<https://kyushu.seikyoku.ne.jp/oita-coop/>

24. 大分大学学生寮のご案内（予告）

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

＜学生寮の概要＞



（上図は2部屋を示します。）

下記QRコードより部屋の様子がご覧いただけます



対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

（バリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。（主に、肢体不自由のある学生用））

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

＜必要経費＞

（金額は消費税率等により変更になる可能性があります。）

居室使用料	維持管理費・水道料	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円／月	4,000円／月	2,037円／月	26,400円／入居時

・電気料は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

＜募集人員等＞

■募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）（バリア・フリータイプの居室、女1室を含む。）

■入寮許可：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

大学院生及び3年次編入学生…2年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

＜選考区分等＞

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・ 帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	令和6年（2024年）1月22日（月）～2月7日（水）（入試出願期間とは異なりますので注意してください。）	
結果通知	令和6年（2024年）3月12日（火）	令和6年（2024年）3月22日（金）

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

＜入寮者募集要項の入手方法＞ （募集要項公表：令和5年（2023年）12月上旬）

本学ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート）

右のQRコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課学生支援係 TEL：097-554-7443 E-mail：seiksien@oita-u.ac.jp



25. 令和5年度(2023年度) 入学者選抜試験実施状況

選抜区分	一般選抜(前期日程)				一般選抜(後期日程)				学校推薦型選抜				総合型選抜				帰国・社人・外国人選抜				合計					
	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	
教育学部	初等中等教育コース	72	142	102	77	70	23	226	64	33	33	35	72	72	35	35	10	10	10	7	7	140	450	248	152	145
	特別支援教育コース	3	9	8	4	3	2	14	6	4	3	5	5	5	4	4						10	28	19	12	10
教育学部 計	75	151	110	81	73	25	240	70	37	36	40	77	77	39	39	10	10	10	7	7	150	478	267	164	155	
経済学部	経済学科																									
	経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	120	223	215	144	127	65	529	149	82	63	55	94	94	56	56	30	62	62	30	30	若干	5	4	1	0
経済学部 計	120	223	215	144	127	65	529	149	82	63	55	94	94	56	56	30	62	62	30	30	若干	5	4	1	0	
医学部 ※3	医学科 ※1 ※2	65	395	154	67	66	10	127	25	10	7	15	67	66	15	15	35	164	82	35	34	若干	0	0	0	0
	看護学科 ※1 先進医療科学科 生命健康科学コース ※1 先進医療科学科 臨床医学コース ※1 ※2	35	70	68	40	38	5	76	7	6	5	5	7	7	7	7	7	7	18	18	7	7	7	7	7	7
医学部 計	126	568	294	136	130	19	245	46	24	16	15	67	66	15	15	35	164	82	35	34	若干	0	0	0	0	
理工学部	教理科プログラム																					若干	0	0	0	0
	知能情報システムプログラム 物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム 建築学プログラム ※2	244	553	513	264	248	49	526	155	11	10	17	8	12	8	8	2	4	4	2	2	2	若干	2	1	1
理工学部 計	244	553	513	264	248	49	526	155	67	49	43	75	75	40	40	19	34	34	17	17	若干	12	8	2	1	
福祉健康科学部	理学療法コース ※1	22	76	60	23	21	3	75	13	6	4	2	4	2	2	4	12	12	4	4	4	若干	1	1	0	0
	社会福祉実践コース 心理学コース	23	35	35	26	25	4	34	10	4	3	8	25	25	8	8	8	17	16	8	8	35	94	70	38	36
福祉健康科学部 計	45	111	95	49	46	7	109	23	10	7	12	25	25	8	8	13	44	43	13	13	100	342	234	110	103	
合計	637	1,659	1,275	704	653	165	1,649	443	220	171	161	338	337	158	158	107	314	231	102	101	若干	17	12	3	1	
合計	637	1,659	1,275	704	653	165	1,649	443	220	171	161	338	337	158	158	107	314	231	102	101	若干	17	12	3	1	

※1 一般選抜第1段階選抜合格者は、医学部医学科前期日程197名、医学部看護学科後期日程100名、医学部先進医療科学科生命健康科学コース前期日程45名・後期日程40名、医学部先進医療科学科臨床医学コース前期日程33名・後期日程30名、福祉健康科学部理学療法コース前期日程66名・後期日程45名です。

※2 医学部医学科一般選抜(前期日程)、先進医療科学科臨床医学コース一般選抜(後期日程)の合格者及び入学者数には、追加合格者(医学科1名、先進医療科学科臨床医学コース3名、理工学部建築学プログラム1名)を含みます。

※3 医学部の一般選抜(前期日程)には、追試験受験者を含みます。

27. 令和5年度（2023年度）一般選抜合格者の成績

【前期日程】

学 部	学科・コース・プログラム	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	72	77	1200	876.00	606.60	727.50
	特別支援教育コース	3	4	1200			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	120	144	1000	852.30	555.60	621.12
医学部	医学科（一般枠）	55	59	1000	864.50	723.00	761.19
	医学科（地元出身者枠）	10	7	1000			
	看護学科	35	40	650	451.83	382.50	407.99
	先進医療科学科生命健康科学コース	15	16	1300	912.33	752.00	808.00
	先進医療科学科臨床医工学コース	11	12	1300	964.00	771.67	842.00
理工学部	数理科学プログラム	13	15	1025	704.25	563.50	626.53
	知能情報システムプログラム	39	41	1025	777.00	583.50	639.45
	物理学連携プログラム	10	12	1025	718.00	528.75	581.38
	電気エネルギー・電子工学プログラム	46	39	1025	697.75	523.50	573.14
	機械工学プログラム	42	47	1025	702.75	524.25	567.90
	知能機械システムプログラム	16	18	1025	642.50	554.25	580.39
	生命・物質化学プログラム	37	41	1025	787.25	547.00	614.47
	地域環境科学プログラム	13	17	1025	625.25	537.75	569.25
	建築学プログラム	28	34	1025	703.75	550.75	599.91
福祉健康科学部	理学療法コース	22	23	1300	933.40	829.60	866.59
	社会福祉実践コース	23	26	1300	988.00	762.80	836.22
	心理学コース	27	30	1300	929.20	795.60	859.53

【後期日程】

学 部	学科・コース・プログラム	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	23	33	1200	936.60	662.53	765.31
	特別支援教育コース	2	4	1200			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	65	82	700	532.90	433.30	468.74
医学部	医学科	-	-	-			
	看護学科	10	10	550			
	先進医療科学科生命健康科学コース	5	6	1200			
	先進医療科学科臨床医工学コース	4	5	1200			
理工学部	数理科学プログラム	-	-	-			
	知能情報システムプログラム	9	11	1100	928.750	787.500	825.400
	物理学連携プログラム	-	-	-			
	電気エネルギー・電子工学プログラム	9	17	1100	798.125	737.375	758.960
	機械工学プログラム	10	11	1100	897.000	764.875	801.520
	知能機械システムプログラム	6	9	1100			
	生命・物質化学プログラム	7	8	1100			
	地域環境科学プログラム	-	-	-			
福祉健康科学部	建築学プログラム	8	10	1100			
	理学療法コース	3	6	1300			
	社会福祉実践コース	4	4	1300			
	心理学コース	-	-	-			

※追加合格者及び追試験合格者を除く。

※合格者が10名以内の場合、最高点、最低点及び平均点は非公表。

※経済学部及び理工学部前期日程の最高点、最低点及び平均点には、特色加点（配点20点）を含む。

令和7年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）

平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した令和7年度大分大学入学者選抜における実施教科・科目等及び配点等については、本学ホームページにおいて公表しています。詳細は、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/r7yokoku.html>）から確認してください。

なお、大学入学共通テスト『情報』を除く、令和7年度入学者選抜以降の変更点については以下のとおりです。

<教育学部>

- 特別支援教育コース学校推薦型選抜において、以下のとおり学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）から学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）へ変更します。

（1）推薦要件

【変更前：令和5年度入学者選抜】

推薦要件	人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者
------	---



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

推薦要件	(1) 人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 (2) 学業成績が優秀であり、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 ※Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと表示してください。
------	--

（2）配点

【変更前：令和5年度入学者選抜】

大学入学共通テスト	面接		合計
	個人面接	グループディスカッション	
900	300	300	1500

※令和4・5年度入学者選抜においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適切に講じて入学者選抜を安全かつ確実に実施するために、面接試験ではグループディスカッションを取り止め、個人面接（配点600点）のみを実施



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

小論文	面接		合計
	個人面接	グループディスカッション	
100	150	100	350

- 初等中等教育コース総合型選抜における「教科の試験」の保健体育の試験内容を以下のとおり変更します。

【変更前：令和5年度入学者選抜】

個人種目（陸上競技、器械運動のどちらか1種目を選択）

集団種目（バレーボール、バスケットボールのどちらか1種目を選択）



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

個人種目（陸上競技、器械運動の中から1種目を当日指定する）

集団種目（バレーボール、バスケットボールの中から1種目を当日指定する）

<理工学部>

- 一般選抜前期日程における個別学力検査『理科』の選択科目を以下のとおり変更します。

【変更前：令和5年度入学者選抜】

物基・物、化基・化、生基・生から1



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

物基・物、化基・化から1

- 学校推薦型選抜における生命・物質化学プログラムの推薦区分を以下のとおり変更します。

【変更前：令和5年度入学者選抜】

一般推薦及びサイエンス推薦



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

一般推薦

<福祉健康科学部>

- 一般選抜前期日程、後期日程及び総合型選抜における理学療法コースの大学入学共通テスト『理科』の選択科目を以下のとおり変更します。

【変更前：令和5年度入学者選抜】

物基、化基、生基、地基から2と物、化、生、地学から1、

または物、化、生、地学から2



【変更後：令和7年度入学者選抜以降】

物、化、生、地学から2

入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんの はる 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7471
FAX 097-554-7472
URL <https://www.oita-u.ac.jp/>